

学校教育目標

『かしこく・やさしく・たくましく』



〈目指す学校像〉

『思いやり日本一の学校』

# 川越小だより

2月号 令和8年2月2日

〈磨こう3つの玉〉

○みつけ玉

○しんせつ玉

○がまん玉



## 季節の行事や体験を通して育つ力

二月を迎え、暦の上では春となりました。寒さの中にも、日差しや風の変化から、少しずつ季節の移り変わりを感じる頃です。二月と聞いて、私の子供の頃の思い出として真っ先に思い浮かぶのは「節分」です。玄関の外へ「鬼は外」家の中へは「福は内」と大きな声を出しながら妹と二人で豆まきをしたものです。最近では、地域や家庭の在り方の変化もあり、そうした声を耳にする機会が少なくなりました。

凧揚げやこま回し、羽根つきといった昔遊びも同様です。かつては日常の中に自然にありましたが、今では学校での体験を通して触れることが多くなっています。しかし、だからこそ学校での一つ一つの体験には、大きな意味があると考えています。便利で新しいものに囲まれた時代だからこそ、実際に手を動かし、試行錯誤を繰り返しながら遊ぶ体験は、子ども達にとって大切な学びの場となります。最初はうまくできなくても「どうしたら高く揚がるだろう」「どう回せば続くのだろう」と考え、友達と教え合い、工夫を重ねていきます。そこには、自ら進んで取り組む姿や対話を通して学びを深める姿が見られます。こうした経験は、結果だけでなく、過程を大切にすると学びにつながっていきます。



行事や遊びの中では、思い通りにならないことや失敗も少なくありません。しかし、その経験があるからこそ、粘り強く挑戦する力や人と関わりながら解決しようとする力が育っていきます。これらは、これからの社会を生きていく子ども達にとって、欠かすことのできない力です。

本校では、教科の学習だけでなく、行事や体験活動を通して、子ども達が多様な経験を積み重ねられるよう取り組んでいます。学校と家庭、そして地域がつながりながら、子ども達の成長を見守り、支えていけることを願っています。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

最後に、過日実施しました一年生の「昔遊び」体験では、地域からたくさんの方々にボランティアとしてご指導・ご協力をいただきました。おかげさまで子ども達も喜んでいました。ありがとうございました。



